

令和6年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校等と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場

令和6年10月4日（金） 県立誠和福祉高等学校

3 参加対象校

- ・ 東部教育事務所管内公立中学校及び義務教育学校 93校
- ・ 管内市町に所在する県公立高等学校 39校

4 主な内容

(1) 全体会

- ・ 会場校の学校説明 県立誠和福祉高等学校から
- ・ 情報提供1 県立学校部高校教育指導課から
「第34回埼玉県産業教育フェアについて」

(2) 授業参観・施設見学

(3) 分科会（グループ協議、指導助言）

【協議題】

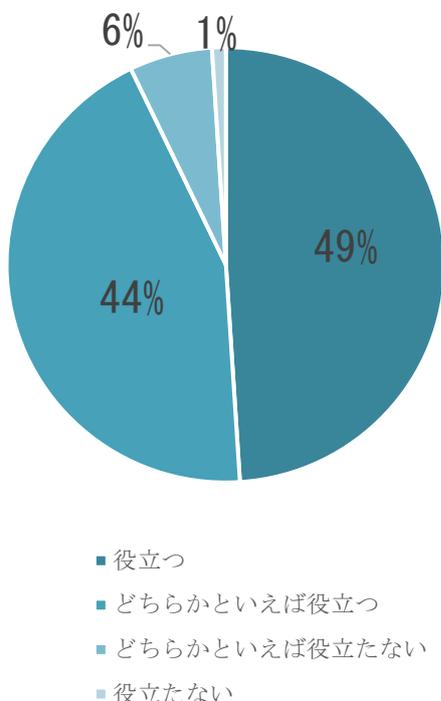
中学校・義務教育学校後期課程から高等学校への円滑な接続を目指す
進路指導・キャリア教育の現状と課題

【協議の視点】

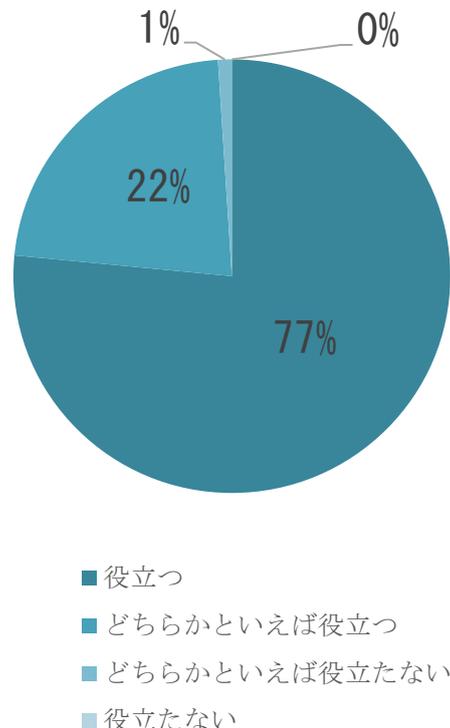
生徒にとっての魅力ある高等学校 ～中高連携について～

5 参加者の感想から

1 事前に視聴いただいた「情報提供」は学校での進路指導等に役立つものでしたか？



2 分科会の「研究協議」は、学校での進路指導等に役立つものでしたか？



【成果】

- 分科会では高校の先生のお話、他の中学校の現状と課題を共有させていただき、大変有意義な時間だった。
- 高校の先生の「高校合格がゴールになっている生徒が多い。高校をいい意味で今後の人生のステップアップとしてほしい」という言葉を本校の生徒にも伝えていきたい。
- 高校の先生と直接、様々な話ができるこのような協議会はとても貴重である。ぜひ今後もこのような機会を設けていただけたらありがたい。
- 研究協議では、各学校の現状と課題について話し合いをした。高校説明会のあり方やキャリア・パスポートの活用方法について考えることができた。
- 専門高校の良さや中学校から専門高校へ繋げる際の課題などについて情報共有することができた。実際に進路選択させるだけでなく、高校卒業後のことまで中学校でどこまで意識させるかを考え指導していきたい。
- 中学校の現状や本校の印象などを意見交換ができ、今後の生徒募集にいかしていく。また、卒業後の進路も中学校からの継続的な指導が必要だと感じた。
- 分科会では、高校の先生とも一緒にお話しできたことがありがたかった。配慮を要する生徒の高校での生活や、今後の入試の内容など普段聞けないことも詳しく聞くことができたのでとても参考になった。
- 普段なかなか見ることができない専門学科の授業を実際に自分の目で見ることはとても貴重な経験になった。施設・設備がとても充実していて、生徒の授業への取り組みも素晴らしかった。

【課題・改善】

- 専門学科の高校の見学と、中高の先生方が話し合う機会は分けて、近隣で開催できれば、更に有意義である。
- 授業参観中に廊下で参会者が私語をしているのが気になった。授業中の生徒にとって迷惑になったのではないかと思った。
- 分科会の時間が長いと充実した協議や情報交換ができると思った。
- 高校と中学校の教員が直接話せる機会は少ないので、分科会の時間を増やして欲しい。

6 専門学科のある高校について、知りたいこと

- 専門学科のある高校の特色。
- 具体的にどのような授業を行っているのか、卒業後の進路について。
- 取得可能な資格や、そのための授業内容。特に授業は科目名からは内容まで明確なイメージを持ってない場合があるので、授業動画などがHPにアップされたりするとありがたい。
- 就職指導をどのように行っているのか。また、就職先や進学先について詳しく知りたい。
- 初めて高校の授業風景を見ることができた。そのため、興味深く授業参観や施設見学をすることができた。
- 中学校教員が高校の授業、特に専門学科を参観することは少ないので、機会が増えれば理解が深まると感じた。